

令和元年度第 1 回防災会議

R 2 . 1 . 3 0

流山市防災会議

実施項目等

1 本会議の目的

- (1) 昨年の台風19号等の教訓から防災対策に反映すべき事項等を明らかにし直ちに処置するとともに、令和3年度予定の大規模な地域防災計画の修正に資する。
- (2) 防災・減災の観点からの災害対応の国のガイドライン等に基づき、流山市地域防災計画を修正する。

2 主要な実施項目

- (1) 説明項目
 - ア 流山市地域防災計画の修正経過と今後の修正予定等
 - イ 昨年の台風19号等への流山市の対応と被災自治体等の教訓を含めた反映事項等
- (2) 審議項目
 - 前項「イ」の審議
- (3) 報告項目
 - 令和元年度流山市地域防災計画の修正について

1 流山市地域防災計画の修正経過と今後の修正予定等

- (1) これまでの地域防災計画の修正経過
- (2) これまでの防災会議での審議経過

(1) これまでの地域防災計画の修正経過等

平成24年8月

平成23年の東日本大震災の教訓等を踏まえ
大幅な修正

平成29年3月

東日本大震災の教訓を踏まえた平成25年6月
の災害対策基本法等の改正によりに修正

(1) これまでの地域防災計画の修正経過等

平成29年3月の修正概要

修正内容

(1) 災害対策基本法の改正に関する項目

ア 地区防災計画の位置付け

イ 指定緊急避難場所・指定避難所の指定等

ウ 避難行動要支援者に対する対応ほか

(2) 千葉県地域防災計画の修正に関する項目

ア 帰宅困難者等対策の推進

イ 大規模広域災害に備えた防災力の強化

ウ 被災者の支援体制の充実ほか

(1) これまでの地域防災計画の修正経過等

平成29年3月の修正概要

修正内容

(3) 関係法令等の改正に関する項目

ア 水防法の一部を改正する法律による浸水被害への対策強化

イ 避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドラインによる
基準の改正ほか

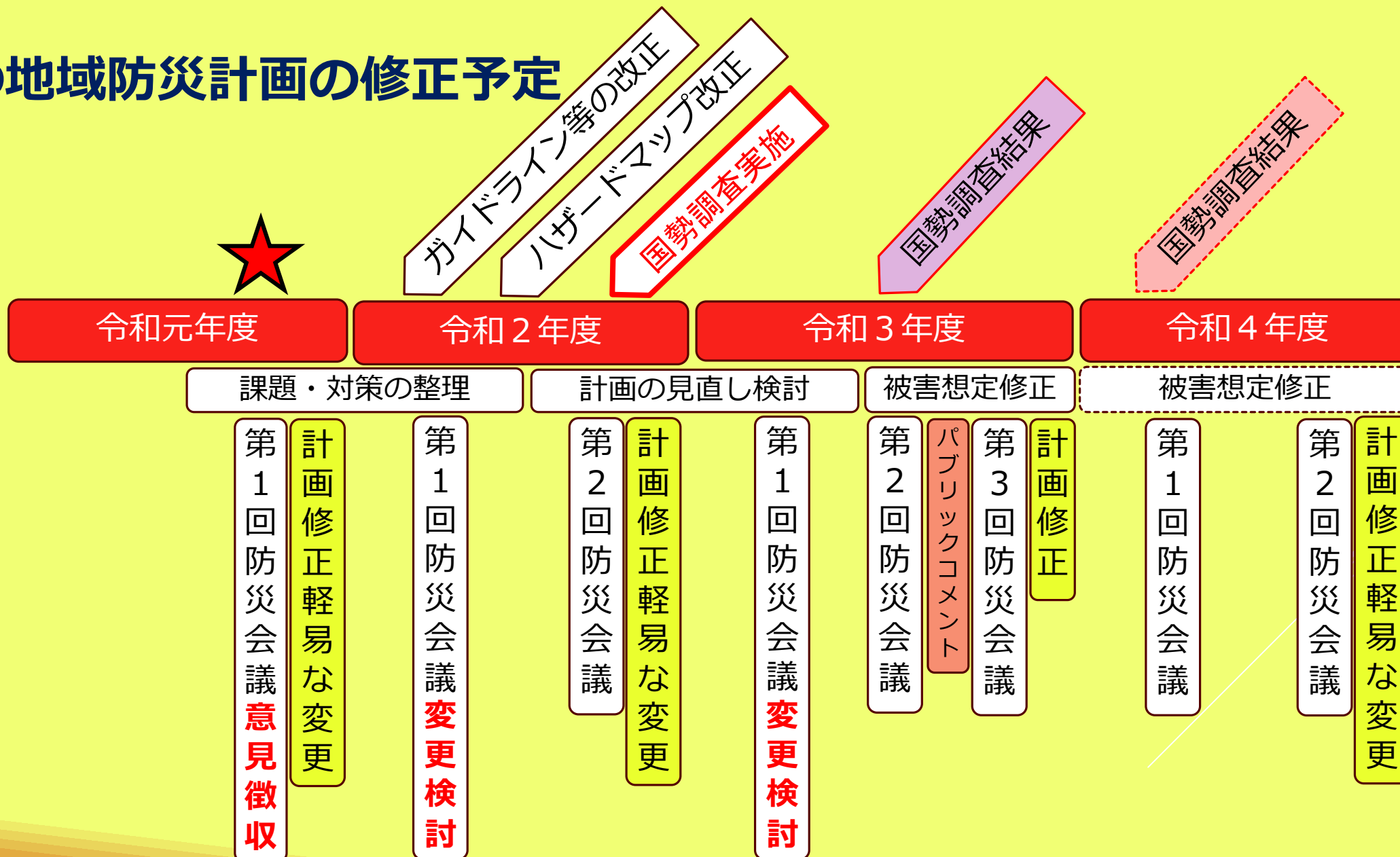
ウ 土砂災害に係る避難勧告発令基準や情報伝達方法の修正ほか

(4) その他の項目

ア 地域防災計画のスリム化ほか

(1) これまでの地域防災計画の修正経過等

今後の地域防災計画の修正予定



2 昨年の台風19号等への対応と教訓等

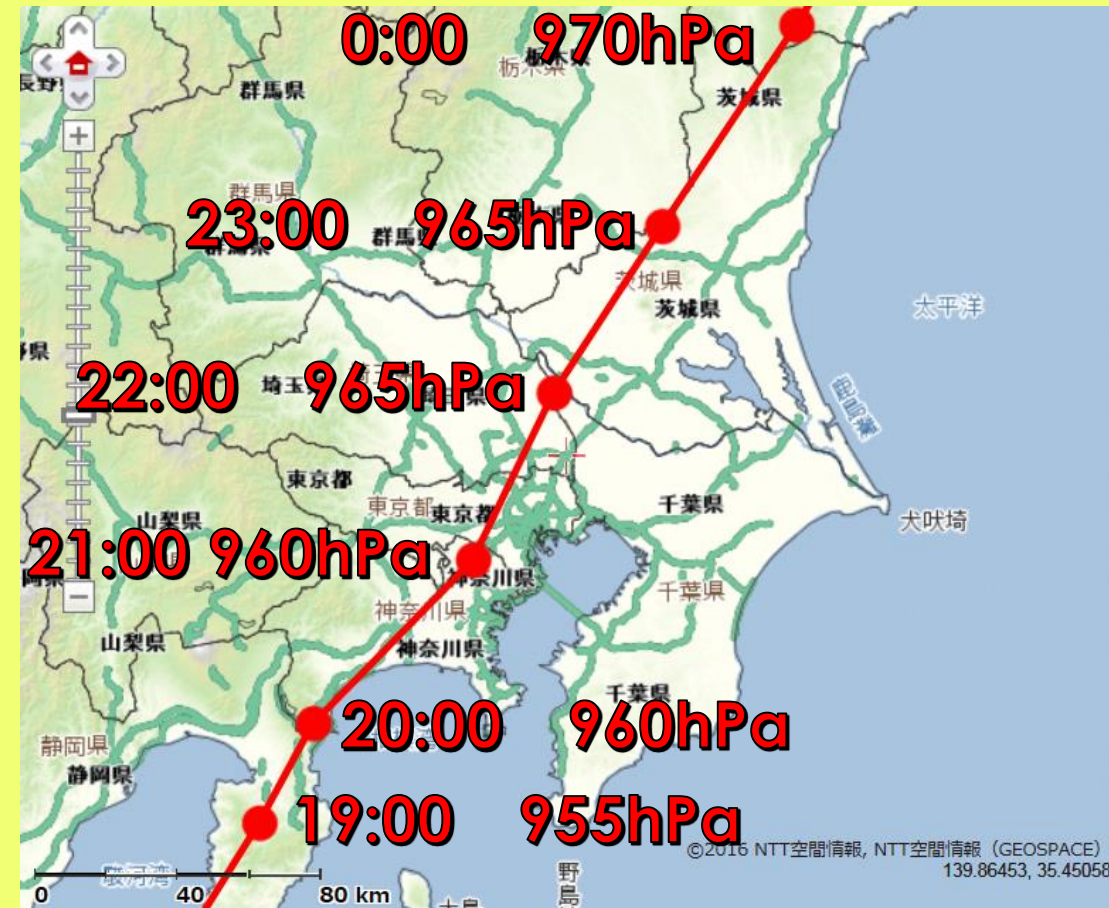
- (1) 台風19号の災害対応と教訓
- (2) 現状の施策
- (3) 今後の課題

(1) 台風19号の災害対応と教訓

1) 台風19号の概要

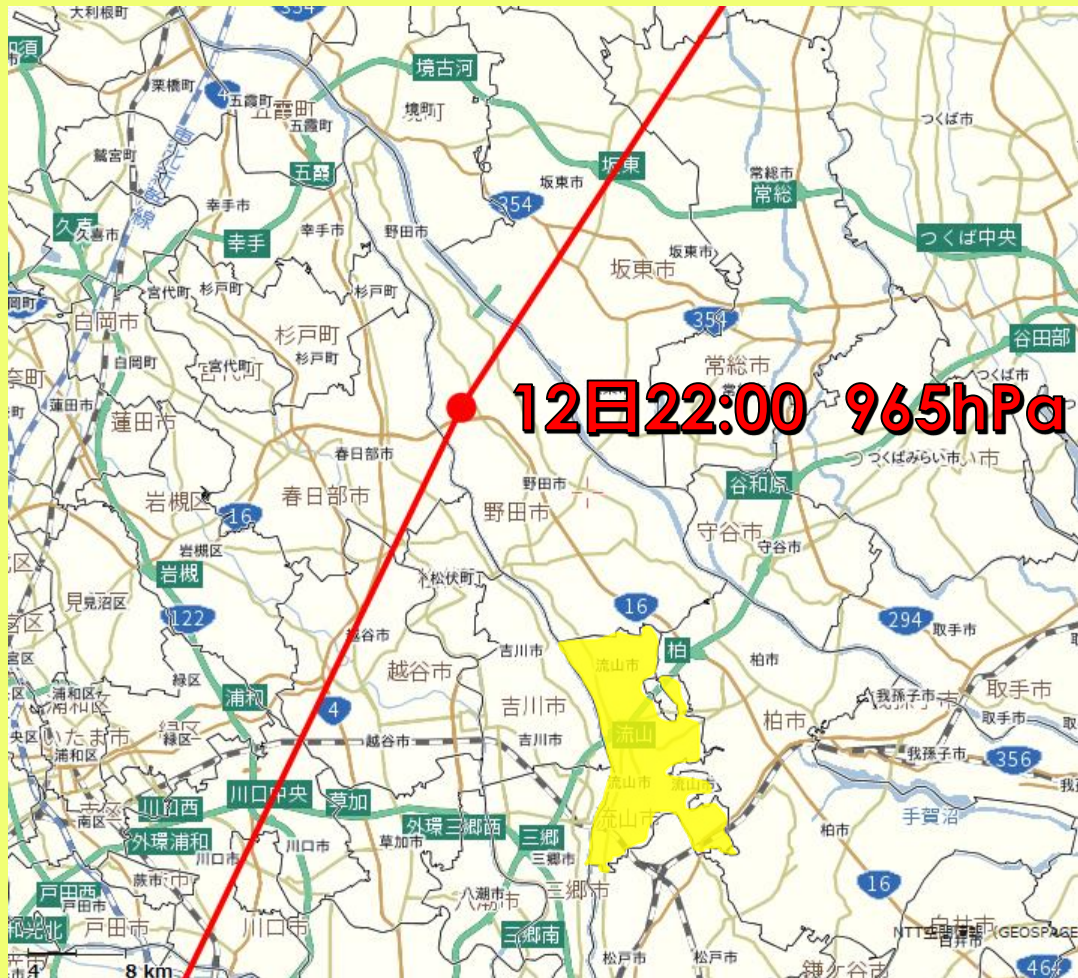
- ・ 10月12日19時前に静岡県に伊豆半島に上陸。
- ・ 同22時頃に流山市に最接近し20時頃頃から風雨が強まり23時頃まで続く。
- ・ 瞬間最大風速 32 m/s (我孫子観測所)
- ・ 累加雨量 201 mm (野々下観測所)
- ・ 時間最大雨量 23 mm/h (")
- ・ 被害状況

・ 人的被害	中等症	1件
・ 倒木等		51件
・ 道路冠水等		2か所
・ 公共施設被害		54件
・ 住家被害	一部損壊	55件ほか



(1) 台風19号の災害対応と教訓

1) 台風19号の概要



西関宿
平常時水位
-1.0m



西関宿
13日6:15
7.66m

10

(1) 台風19号の災害対応と教訓

千葉県消防局による空撮 10月13日6時54分 流山橋付近



千葉県消防局

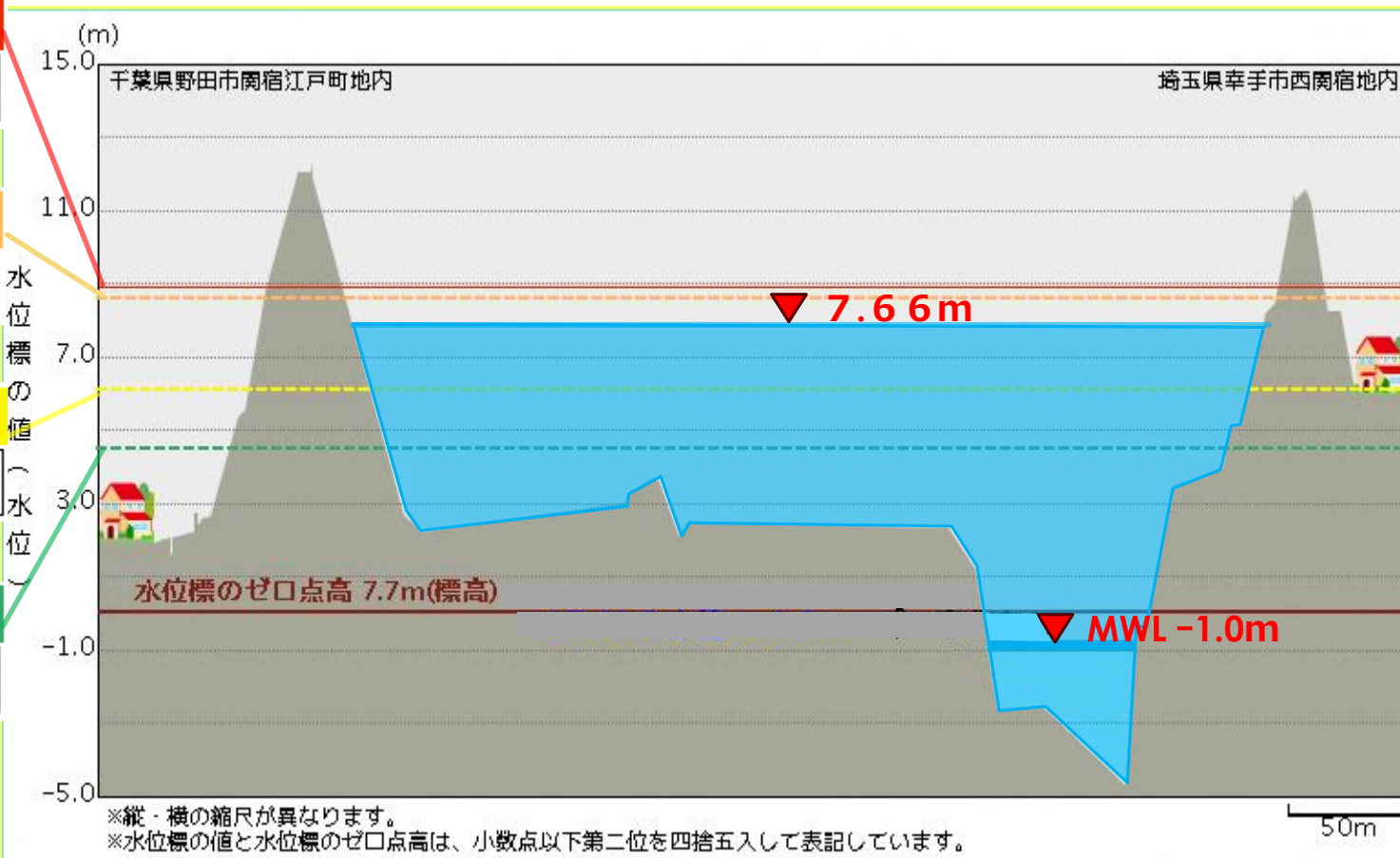
(1) 台風19号の災害対応と教訓

1) 台風19号の概要

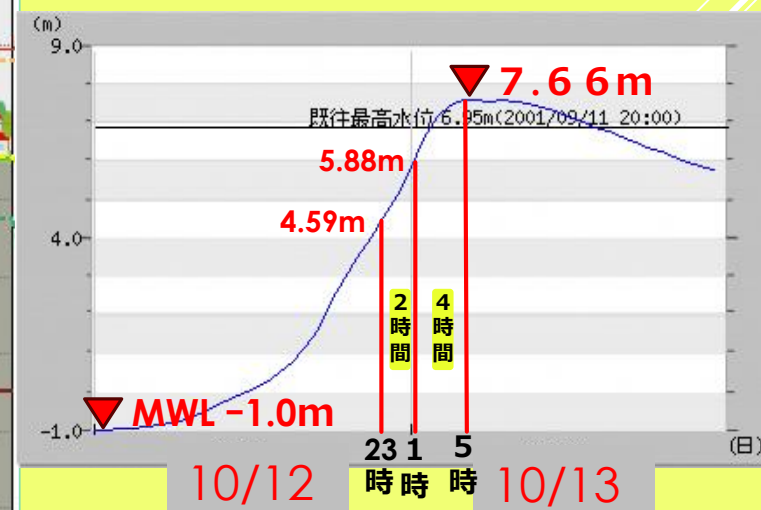
(西関宿水位観測所リアルタイムデータ)

水系名	河川名	管理者	位置	所在地
利根川	江戸川	国交省 江戸川河川事務所	右岸58.41km	埼玉県幸手市西関宿 (江戸川右岸関宿橋上流)

- はん濫危険水位
8.90m
- 河川がはん濫するおそれのある水位
- 避難判断水位
8.60m
- 避難情報発表の目安となる水位
- はん濫注意水位
6.10m
- 河川のはん濫の発生を注意する水位
- 水防団待機水位
4.50m
- 水防団が待機する目安となる水位



年月日	時刻	水位(m)
2019/10/12	17:00	1.22
2019/10/12	18:00	1.71
2019/10/12	19:00	2.40
2019/10/12	20:00	3.02
2019/10/12	21:00	3.53
2019/10/12	22:00	4.05
2019/10/12	23:00	4.59
2019/10/12	24:00	5.17
2019/10/13	01:00	5.88
2019/10/13	02:00	6.66
2019/10/13	03:00	7.20
2019/10/13	04:00	7.50
2019/10/13	05:00	7.65
2019/10/13	06:00	7.66
2019/10/13	07:00	7.61
2019/10/13	08:00	7.64
2019/10/13	09:00	7.61
2019/10/13	10:00	7.55
2019/10/13	11:00	7.47
2019/10/13	12:00	7.34
2019/10/13	13:00	7.21
2019/10/13	14:00	7.06
2019/10/13	15:00	6.95
2019/10/13	16:00	6.81
2019/10/13	17:00	6.67



(1) 台風19号の災害対応と教訓

2) 対応タイムライン



(1) 台風19号の災害対応と教訓

3) 応急活動の概要

市職員、消防職員、水防団等
約400人で応急活動を実施



水防本部会議



給水車 2 t

- ・ 施設及び排水施設等点検
- ・ 土のう配布 (141件 4,046袋)
- ・ 道路等パトロール
- ・ 災害情報の発信
(安心メール等 延べ59回)
- ・ 避難所開設 (36か所)
- ・ 消防隊出動 (危険排除等 29件)
- ・ 水防団警戒配備
- ・ 相馬市への支援
(給水車1台、アルファ米5,000食、
飲料水1,788リットルほか、能登町
から飲料水7,300リットル)

(1) 台風19号の災害対応と教訓

4) 避難所開設の概要



サブアリーナ



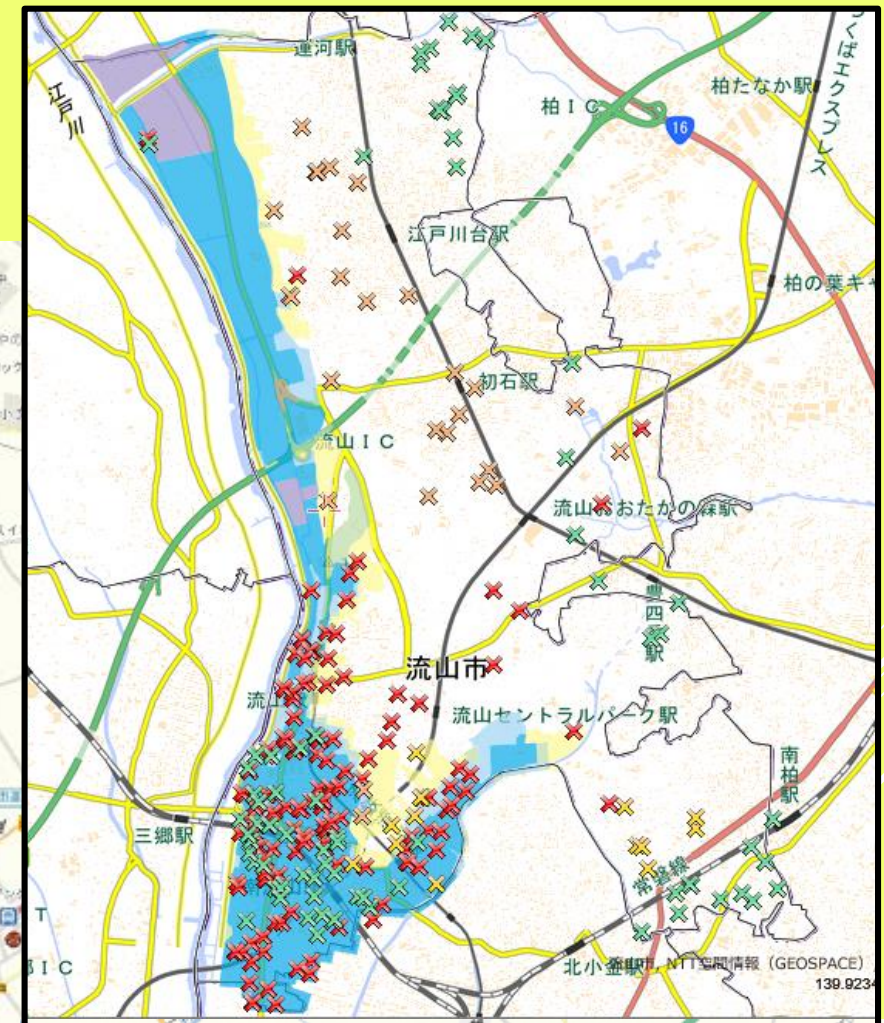
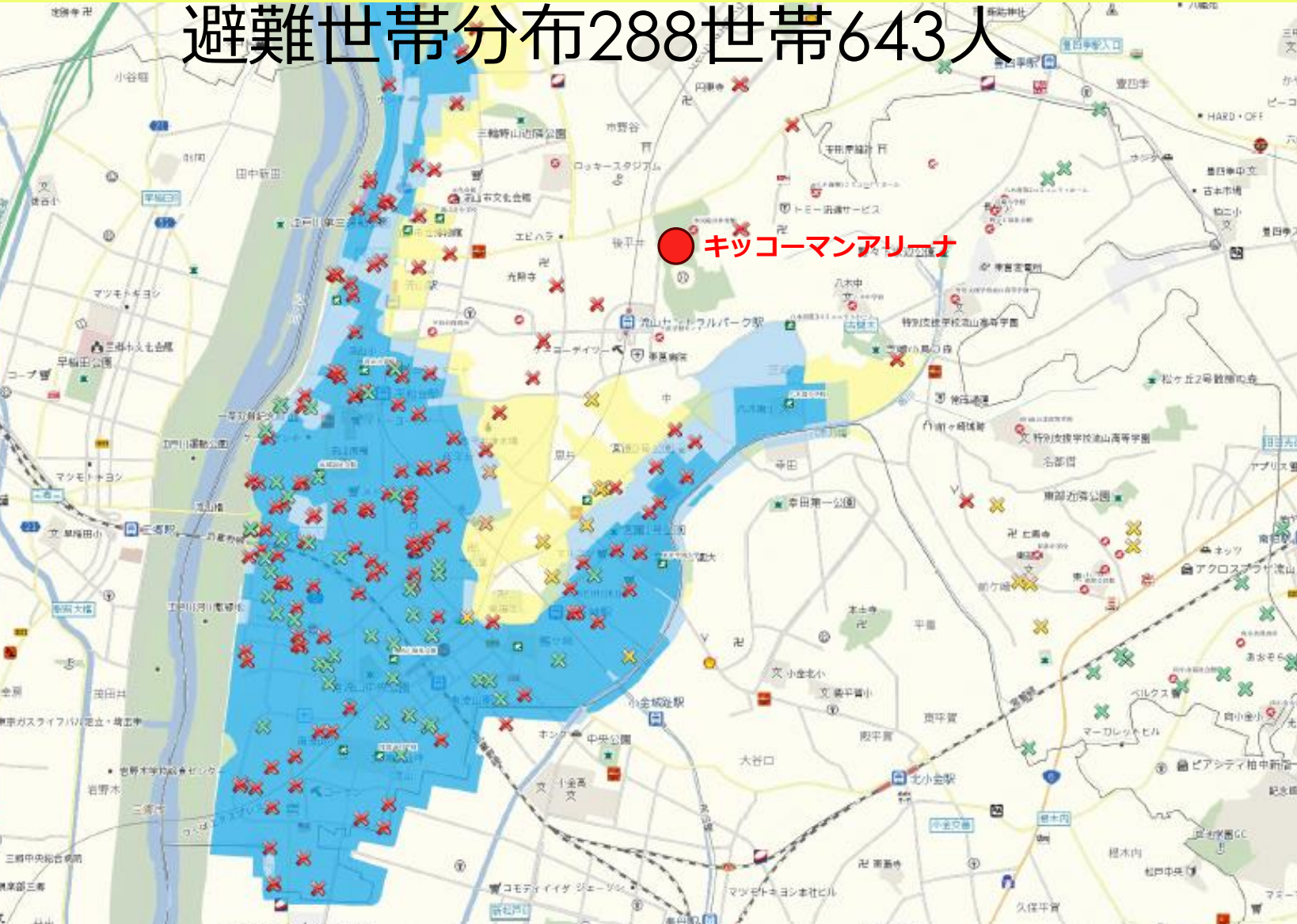
武道場

- 合計36か所開設
(公民館2、福祉会館14、小中学校18、生涯学習センター、キックマンアリーナ)
- 開設期間 12日8:30~13日12:00
- 避難者数最大 643人(288世帯)
(内キックマンアリーナ424人159世帯)
- ペット同行避難 アリーナ他3か所
(犬、猫、鳥、うさぎ等15匹程度)
- 備蓄品配布 毛布532枚
(備蓄倉庫の無い避難所は、事前に毛布、発電機及びガソリン、投光器を準備) 15

(1) 台風19号の災害対応と教訓

4) 避難所開設の概要

避難世帯分布288世帯643人



凡例 赤色:アリーナ、黄色:思井・名都借福
社会館、緑色:その他福祉社会館、茶色:北部・
初石公民館

(1) 台風19号の災害対応と教訓

5) 新たな教訓

① 大河川の堤防決壊

7県71河川計140カ所 利根川、荒川等でも決壊寸前

② 電柱等の倒壊による長期間の停電

千葉エリア最大13.4万件、復旧まで最大約3週間

③ 長期間の停電による断水

千葉県内最大1,708戸 復旧まで約1週間

④ 大量の家屋が屋根等一部損壊

千葉県内全壊71件、半壊112件、一部損壊4,930件 (台風15・19号)

⑤ レベル3 避難準備情報の実効性 車移動中の被災

江戸川沿いにレベル3発令 → 自主避難含む避難者643人



(1) 台風19号の災害対応と教訓

6) 議会からの要望・市民の声

議会からの要望

- ・災害時に市への電話をつながりやすくする。
- ・安心メール（避難情報）に河川ライブ映像URLを入れる。
- ・避難所前にペット同行避難可否の表示をする。
- ・避難所チェックシートの活用
- ・垂直避難の協定の拡充

市民の声

- ・雨や風が凄くて車じゃないと避難できない。
- ・避難所に毛布や水を持って行けないから避難できない。
- ・ペット同行避難できる避難所を教えて欲しい。
- ・防災行政無線は聞こえない。



(2) 現状の施策

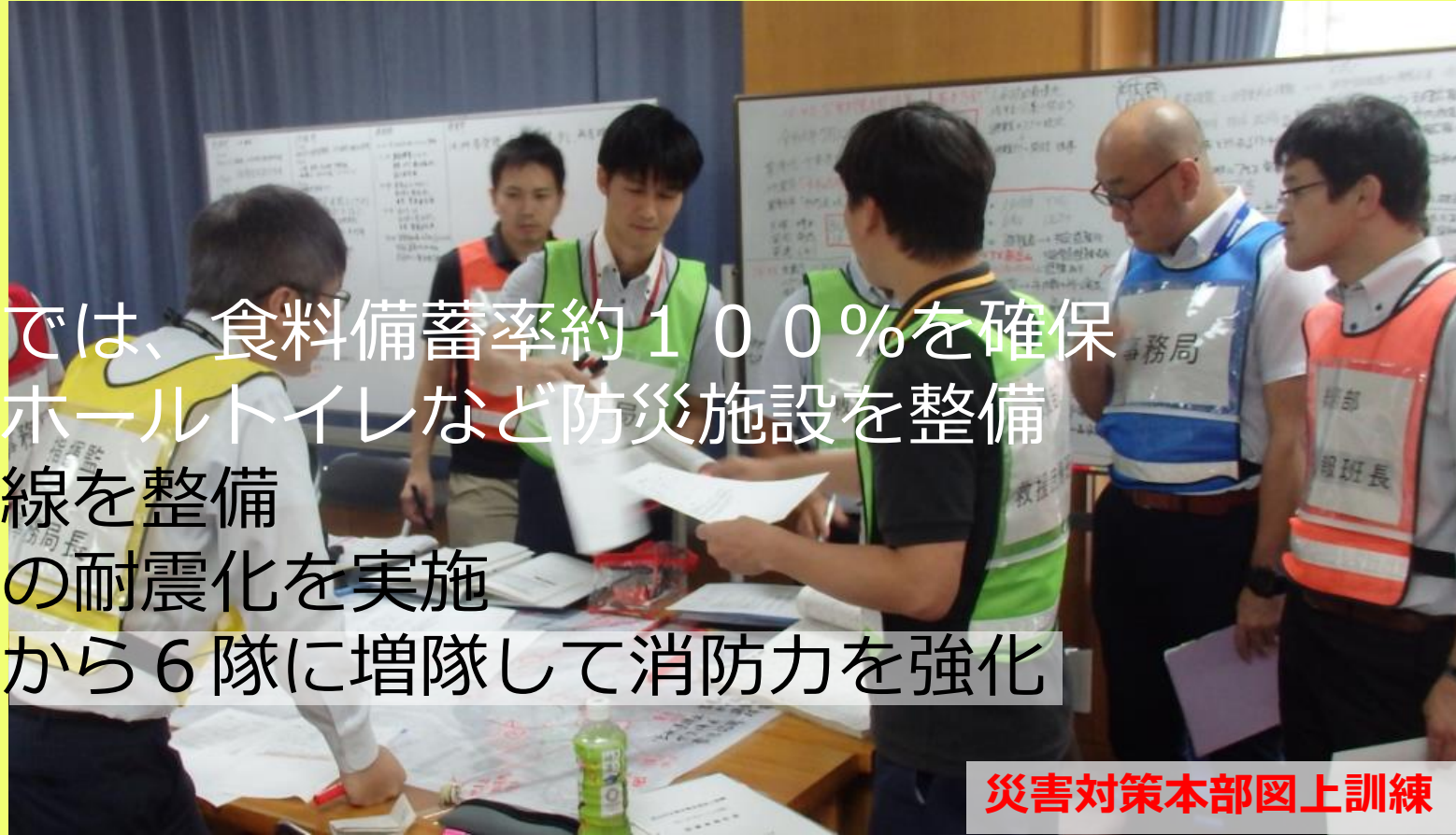
1) 公助

ハード対策

- ・防災備蓄倉庫設置事業では、食料備蓄率約100%を確保
- ・近隣公園に井戸やマンホールトイレなど防災施設を整備
- ・浸水対策として雨水幹線を整備
- ・北部地域の主要配水管の耐震化を実施
- ・消防本部救急隊を5隊から6隊に増隊して消防力を強化

ソフト対策

- ・災害医療対策会議により医薬品や医療資器材の備蓄体制を整備
- ・EMISで医療・保健・避難所等情報の集約、県、医師会等と情報共有等
- ・総合防災訓練で初めての浸水想定 of 訓練を実施
- ・災害対策本部図上訓練を実施し市職員の災害対応能力を強化
- ・避難場所の表示を英語・図表化に更新



(2) 現状の施策

2) 自助／共助

ハード対策

- ・自主防災組織防災資機材等整備事業による防災力の強化
- ・コミュニティ助成事業（地域防災組織育成）による防災力の強化
- ・住宅の耐震診断や危険なブロック塀除却に補助

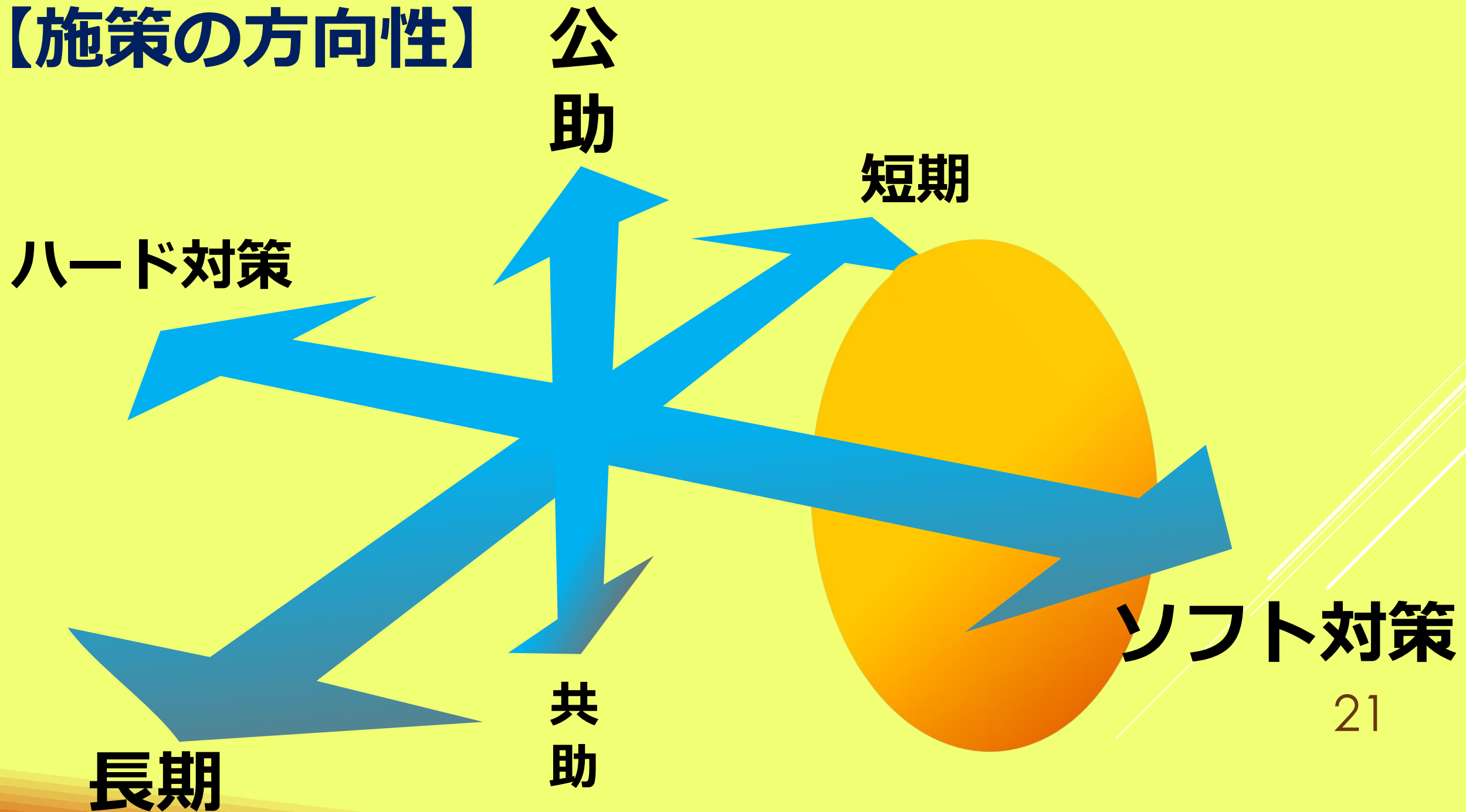


避難所運営委員会HUG訓練

ソフト対策

- ・地域支え合い活動による日常と災害時の地域の共助の力を強化
- ・GLP等と災害時の一時避難場所の協定の締結
- ・避難所運営委員会でHUG訓練の実施
- ・避難所関連施設でのMCA無線の訓練
- ・自主防災組織リーダー研修で「災害伝承10年プロジェクト」を実施
- ・NPOによる「防災かるた」の作成・活用の支援（公益事業補助金）

【施策の方向性】



(3) 今後の課題

1) 教訓を活かした施策（具体的な施策）

① リスク情報の充実・周知

- ・洪水ハザードマップの改定（想定最大規模降雨の見直しに伴う浸水想定区域の変更）
- ・地震ハザードマップの改定（ベースとなる地図の更新）
- ・土砂災害ハザードマップの作成（3か所から13か所に指定予定）

② 災害情報の充実

- ・リアリティのある避難情報の発信、避難ルールの周知
- ・英語版安心メールの充実
- ・安心メールとjアラートの連携
- ・Yahoo!防災速報の加入促進
- ・防災行政無線の長寿命化
- ・災害用FMラジオ局の導入の検討
- ・LINEなど新たな情報発信ツールの研究

(3) 今後の課題

1) 教訓を活かした施策 (具体的な施策)

③避難体制の整備

- ・ 浸水想定区域の (広域) 避難計画、垂直避難の実施
- ・ 快適な (自主) 避難所の運営、ペット同行避難の周知
- ・ 避難訓練、避難所運営訓練の実施の支援
- ・ 見守り支合い活動(外国人等含)の推進、要配慮者の移動手段の検討

④防災関係機関等が連携・協働できる仕組みづくり

- ・ 仮称) 関係機関等合同防災研究会の実施

⑤長期間の停電・断水対策

- ・ 発電機及びガソリン、バッテリー及びスマホ充電器の備蓄
- ・ 具体的な電力復旧要領・燃料確保の検討、電気自動車入替の検討
- ・ 液体ミルクの備蓄、災害用井戸の浄水機能向上の検討

3 流山市地域防災計画の修正

- (1) 修正の概要
- (2) 今後の課題



(1) 修正の概要

修正方針 (令和3年に大規模な修正を行うため今年度は、 国のガイドライン等に基づく修正を実施)

- 1) 機構改革による課名の変更や災害対策本部委員の変更など
- 2) 避難情報の変更 レベル1～5の追加
避難判断水位、氾濫危険水位の変更
- 3) 指定緊急避難場所及び指定避難所の追加等

その他、資料の時点修正を今後行う。

(1) 修正の概要

別紙 新旧対照表を参照

(2) 今後の課題

①被害想定^の修正 → R 2 年度国勢調査の結果
を元に R 3 年度以降修正

- ・人口の増加
- ・マンション等建築物の増加
- ・区画整理事業の進展による道路網の整備等

②受援計画の作成 → 今後作成

ご清聴ありがとうございました。

ご質問・ご要望等は下記まで

事務局 防災危機管理課

流山市役所 第2庁舎 2階

電話 7150-6312

E-mail : seikatuanzen@city.nagareyama.chiba.jp